

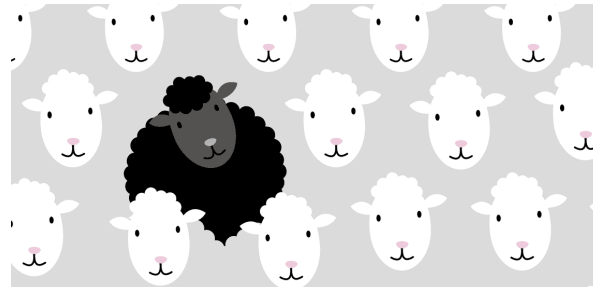
学校 通信 3-2	 かけはし	教育目標 ○学び合う子 ○つながり、 支え合う子 ○たかましい子	武蔵村山市立 第九小学校 校長 村山 博子 令和3年4月30日
-----------------	--	--	--

黒い羊

副校長 日吉 英智

しばらく前ですが、アイドルグループの櫛坂46のヒット曲に「黒い羊」という歌があります。この歌詞の一部は、以下の通りです。

♪黒い羊 そうだ 僕だけがいなくなれば
 いいんだ そうすれば 止まってた針はまた
 動き出すだろう 全員が納得するそんな答
 えなんかあるものか 反対が僕だけならいっ
 そ無視すればいいんだ みんなから説得され
 る方が居心地悪くなる 目配せしてる仲間
 には僕は厄介者でしかない♪



しかし、その一方で、「黒い羊効果」により、「異質だ」と排除することになると、皆同じで個性がなくなります。

では、個性を大事にするのであれば、他と違って良いのでしょうか。他と違うことを何でも個性ということで片付けてしまっただけでは、集団で活動する意味がなくなってしまいます。

子供たちの仲間づくりを見ていると、意見の合う子同士で集団を作ることが多いと思います。意見や考えが違うと同じ集団に入れてくれないとか、酷いと仲間はずれなどいじめの対象にもなりかねません。そこは、お互いに相手を理解し合い上手に関わり合うことができることが大事です。

さて、ここまでの話から、子供たちには、まず、しっかり自分の考えをもち、自分の意見を主張すると同時に、まわりと協調することができるバランス感覚を身に付けていってほしいと思います。

時と場合を考え、自分の意見を出すときと皆で協力するときの調節が上手にできているかどうか御家庭でも話題にしてみてください。

「黒い羊」とは、もともと心理学用語の「黒い羊効果 (Black Sheep Effect)」から来ている言葉です。「羊」と聞くと、多くの方は白い羊をイメージすると思います。白い羊の集団の中に、一匹だけ黒い羊がいたら、かなり目立ちます。そこから「黒い羊効果」とは、集団において、一人の存在が異質とされることをイメージします。

「黒い羊効果」は、「集団において一人を異質な存在として排除すること」として理解されているようです。

日本の学校教育は、集団で学習を行う一斉授業形式です。学校には守るべきルールがあります。集団で一人だけ異質な行動をとれば、周囲に迷惑をかけないように指導を受けることもあります。この一斉形式をとることにより、誰もが身に付けなければならないことを皆が身に付けることができるようになるという考え方によるものです。